

国際交流シンポジウム「財務報告の国際規格化の進展」（平成 20 年 7 月 19 日開催）

平成 20 年 7 月 19 日に、宇部市の宇部文化会館 3 階文化ホールにおいて、国際シンポジウム「財務報告の国際規格化の進展」を宇部工業高等専門学校の主催で開催しました。このシンポジウムは、平成 19 年度文部科学省現代 GP プログラム「東北アジア地区交流による実践的技術者育成」の一環として行われたもので、午前の部では学生発表会、午後の部で内外の研究者による講演会が行われました。

午前の部では、東義大学校商経大学経営会計学部の学生 2 名と宇部高専専攻科経営情報工学専攻の学生 2 名が研究発表を行いました。学生発表会では活発な質疑応答がなされ、学生間の交流も行われました。

	内容及び発表者	
1	「非線形理論を用いた製品市場の動的パターンの解明」 辻野 正訓（宇部工業高等専門学校専攻科）	司会： 玉城 龍洋 (宇部工業高等専門学校講師)
2	「韓国が採択した国際会計基準と現行会計基準の主な差異点」 安 素喜（東義大学校商経大学）	
3	「Beaver 型の会計実証研究」 安部 大地（宇部工業高等専門学校専攻科）	
4	「韓国が採択した国際会計基準と公認会計士試験制度の変化」 尹 憲峻（東義大学校商経大学）	

午後の部では、今回のシンポジウムのメインテーマである「財務報告に関する国際規格の進展とその影響－日刊の現状と課題－」と題して講演会が行われました。

近年、財務報告制度を支える会計基準、監査基準、電子開示技術等の国際規格化が進展しており、国際化に対する日韓のこれまでの対応の相違とこれからの課題について理解を深めることができました。

	内容及び発表者	
1	「国際会計基準の全面導入と韓国が採択した国際会計基準の特徴」 崔 相文（釜山大学校）	司会： 田川 晋也 (宇部工業高等専門学校講師) コメンテータ： 藤田 昌也 (熊本学園大学)
2	「国際会計基準の全面導入と韓国会計監査制度の変化」 金 確烈（東義大学校）	
3	「複式簿記と財務諸表の新展開」 角ヶ谷 典幸（九州大学）	
4	「日本の監査制度 その過去と未来」 吉見 宏（北海道大学）	
5	「XBRL の国際的動向と EDINET への導入」 坂上 学（大阪市立大学）	